



帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

NII学術情報基盤オープンフォーラム

RDCトラック6「研究データ管理人材の育成プランを考える」

これから始めるRDM支援

帯広畜産大学 情報管理課 学術情報室

図書係 佐藤亜紀

sato-ak@obihiro.ac.jp



本日のお話し

- これからRDM支援を始めようとしている本学の状況
- 図書館から始めるRDM支援

1. 本学（図書館）の状況について①

- 情報管理課（基盤センター）の中の1組織

- 学術情報室（図書館）の人員構成

- 室長1名

- 係長2名、 係員1名、 事務補佐員3名



1. 本学（図書館）の状況について②

- 図書館のRDM担当はまだいない

→リポジトリ担当者？

→係長（メイン担当） と 事務補佐員（登録業務）

→**RDM担当？**

1. 本学の状況について③

- 研究データポリシーは未策定
- 今春3大学にて経営統合
- **GakuNin RDM実証実験に参加→共同研究に活用**

参考) GakuNin RDMデモ : GakuNin RDMを軸としたオープンイノベーション/北見工業大学・升井洋志、小樽商科大学・三浦克宜

<https://www.youtube.com/watch?v=3I6KXI83b-o>



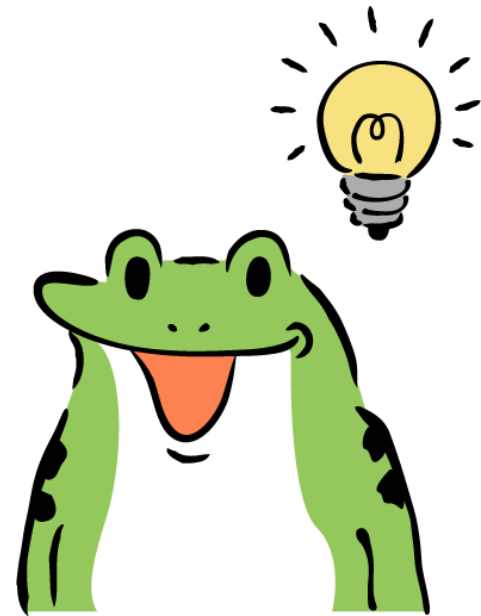
2 . 何から始める？①

- ・ ポリシー策定？
- ・ 人材育成？
- ・ 先生たちへの広報？



2 . 何から始める？②

- ・ ポリシー策定？
- ・ **人材育成（社内教育）**
- ・ 先生たちへの広報？



3. 人材育成

■ すぐに使えるツールは？

- ・ JPCOARの教材
- ・ RDM支援人材標準スキル
- ・ 各種RDM関連イベントの資料



3. 人材育成 ①JPCOARの教材

- ・『研究データ管理サービスの設計と実践』第2版

→支援者向け

- ・『研究者のための研究データマネジメント』

→研究者向け（支援者から研究者へ）

Ex)データの公開について研究者から照会



3. 人材育成 ②標準スキル

研究データ管理支援人材に求められる標準スキル

- RDMにかかわる様々な職種ごとのスキル

3. 人材育成 ②標準スキル

研究データ管理支援人材に求められる標準スキル

→RDMにかかわる様々な職種ごとのスキル明示

- 何ができて（あって）何がないのか
- 誰が何をやるのか



3. 人材育成 ②標準スキル

帯広畜産大学の場合（活用例）

＜業務を担いうる職種＞

- いる：経営者、図書、IT、研推、教務、IR、産官学、知財、契約、秘書、実験
- いない：RDM、URA、DS



表 1 : 業務を担う職種の略称と説明

略称	職名（一例）	説明
経営者	学長、理事、執行部、部局長	研究機関やその部門の長、理事として経営を担う責任者
RDM	RDMコーディネーター （マネージャ）	全学または研究プロジェクトのRDMに関わる業務 （主に調整や統括的マネジメント）を専門的に行う担当者
図書	図書系事務職員	機関リポジトリなど成果発信に関わる業務の担当者
IT	情報基盤系技術教職員	情報基盤（インフラ・ネットワーク）に関わる業務を専門的に行う担当者
URA	リサーチアドミニストレーター （URA）	研究推進に関わる業務を専門的に行う担当者
研推	研究推進系事務職員	研究推進に関わる業務の担当者
教務	教務系事務職員	教務系のうち、学生の論文の受理に関わる業務の担当者
IR	IR担当職員（IRer）	IR（機関研究）を専門的に行う担当者
産官学	産官学コーディネーター、 産官学担当職員	産官学連携、社会連携に関わる業務を専門的に行う担当者
知財	知的財産担当職員	特許、研究成果（データベース含む）の著作権に関わる業務を専門的に行う担当者
契約	契約担当職員	共同研究時の契約を専門的に行う担当者
秘書	研究室秘書、事務補佐員	研究室等の事務全般の支援を担当する者
実験	実験・測定装置担当職員	特定の装置等による実験や測定を実施、支援を専門的に行う担当者
DS	（データ解析・分析に関わる） 専門職員・技術補佐員等	データサイエンスの研究者（データサイエンティスト）、技術者（データエンジニア）

3. 人材育成 ②標準スキル

帯広畜産大学の場合（活用例）

業務を担いうる職種



- いる：経営者、図書、IT、研推、教務、IR、産官学、知財、契約、秘書、実験
- いない：RDM、URA、DS → 誰が担うか要検討

3. 人材育成 ②標準スキル

帯広畜産大学の場合（活用例）

業務を担いうる職種

- いない：RDM、URA、DS

→標準スキル表を確認し、近い職種を検討

→「標準スキル」必須とは限らない

4. まとめ

□ 図書館としてできること

→人材育成、共通認識、理解

□ 大学のなかでできること

→ツール、資料の提示、情報提供

□ 個別事情

→大学の専門、農業、獣医、環境...



4. まとめ

まずは・・・

始めの一步

